平成24年度　シラバス	学年・期間・区分	１年次 ・ 後期 ・ Ｂ群	
	対象学科・専攻	機械工学科	
創 作 活 動 （Creative Activities）	担当教員	南金山　裕弘（Yasuhiro , Nakiyama） 池田　英幸　（Hideyuki , Ikeda） 小田原　悟　（Odahara , Storu）	
	教員室	南金山： 機械工学科棟３階 (TEL：42-9111） 池田　： 機械工学科棟３階 (TEL：42-9100） 小田原： 機械工学科棟２階 (TEL：42-9107）	
	E-Mail	南金山： nakiyama@kagoshima-ct.ac.jp 池田　： h-ikeda@kagoshima-ct.ac.jp 小田原： s-odahar@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態／単位の種別／単位数	演習 ／ 履修単位 ／ １単位		
週あたりの学習時間と回数	〔授業（100 分）〕×15 回		

〔本科目の目標〕　各個人特有の才能を発掘し、創造性豊かな技術者を育成すべく、知的自己啓発、好奇心および柔軟な発想能力を高揚させるための実践的教育として創作活動に取り組む。

〔本科目の位置付け〕　物理、工作法、材料力学、設計法などで学習した理論と本科目での実践との融合により、実際の機械部品の仕組みや運動についての理解が深まり、ものづくりの喜びが体得できる。

〔学習上の留意点〕　既設の創作キットを用いて創造的なアイデアを導入し、目的を達成できるマシンを製作すること。備品および工具の管理は責任を持って行うこと。

〔授業の内容〕

授　業　項　目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. テーマの設定	6	□ (1) 既設の創作キットを用いてオリジナルのメカニズムを創意工夫しながら、期限内に作品を完成できるようなテーマを考えることができる	テーマについて事前に考え得てくる.
2. 創作活動	１８	□ (1) 工具の管理など創作活動全般について、計画的に自己管理できる	動く仕組みについて図書で調べる
3. 成果の途中報告	4	□ (1) 指定期日までに製作が終了するように、適宜、担当教員に報告を行うことができる	キットについて取扱説明書などを読んでくる.
4. 創作活動の発表	2	□ (1) 作品完成後、競技を行うと共に、作品についての簡単なプレゼンテーションができる	図書，インターネット等の資料を調べてくる

〔教科書〕　なし
〔参考書・補助教材〕　「たのしくできるやさしいメカトロニクス工作」，小峯龍男，東京電気大学出版局

〔成績評価の基準〕演習・実習、作品の評価(80%)＋発表および製作態度(20%)

〔本科（準学士課程）の学習・教育目標との関連〕　3-d
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕
〔JABEE との関連〕

Memo